ビジネスキャリア学科　シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
1年	50	ゼミナールⅠ（単位認定者：薄葉祐子）
1年	51	ゼミナールⅠ（単位認定者：今井恵美子）
2年	91	社会人基礎力演習Ⅱ
2年	104	ゼミナールⅢ（単位認定者：薄葉祐子）
2年	105	ゼミナールⅢ（単位認定者：今井恵美子）

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
	●	●	●		

科目ナンバリング
BC-4-SEM-08

科目名	ゼミナールⅠ			単位認定者	薄葉　祐子		評価の方法	授業内課題等	80　%
対象学科 必修・選択 配当年次	ＢＣ学科	選択	１年	開講時期	後期	単位数	1　単位	受講態度	20　%
						授業時間数	30　時間		
				授業形態	演習	授業回数	15　回		

授業の概要	前期の「基礎キャリア形成」を基盤に、自己の志望する領域について、各担当教員の支援指導の下、実社会における具体的な課題や各領域のテーマに主体的・意欲的に取り組み、自分の目標を考察する。
到達目標	・主要なキャリア理論を理解し、自身の価値観や適性を客観的に説明できる。 ・企業の情報を収集・分析し、その特徴や課題を抽出できる。
学修者への期待等	参加する学生にはディスカッションからの気づきを得ながら、自分のキャリアをデザインする基礎力を身につけてほしい。

回	授業計画	準備学修	事前学修時間（分）	事後学修時間（分）
1	授業ガイダンス、ゼミナールⅠへの導入	事前学修：シラバスを読んでくる 事後学修：振り返りレポート提出	30	30
2	キャリアとは何か （2年生：ゼミナールⅢ -2回目と合同授業）	事前学修：質問事項をまとめてくる 事後学修：振り返りレポート提出	30	30
3	キャリア理論①キャリア構成理論	事前学修：事前配布資料を読んでくる 事後学修：振り返りレポート提出	30	30
4	キャリア理論②計画的偶発性理論	事前学修：事前配布資料を読んでくる 事後学修：振り返りレポート提出	30	30
5	自己分析①自分自身を客観視する	事前学修：事前配布資料を読んでくる 事後学修：振り返りレポート提出	30	30
6	自己分析②仲間からのフィードバックによる気づき	事前学修：事前配布資料を読んでくる 事後学修：振り返りレポート提出	30	30
7	フィールドワーク①地域の社会教育施設視察（2年生：ゼミナールⅢ-6回目と合同授業）	事前学修：事前配布資料を読んでくる 事後学修：振り返りレポート提出	30	30
8	自己分析③自己PRを言語化する、発表	事前学修：発表準備 事後学修：振り返りレポート提出	60	30
9	フィールドワーク②起業支援機関訪問（2年生：ゼミナールⅢ-8回目と合同授業）	事前学修：授業内で提示する 事後学修：振り返りレポート提出	30	30
10	企業研究①働きやすい企業とは	事前学修：授業内で提示する 事後学修：振り返りレポート提出	30	30
11	企業研究②情報収集の基礎	事前学修：事前配布資料を読んでくる 事後学修：振り返りレポート提出	30	30
12 13	フィールドワーク③公的認定企業訪問（2年生：ゼミナールⅢ-11・12回目と合同授業））	事前学修：事前配布資料を読んでくる 事後学修：振り返りレポート提出	60	60
14	企業研究③業界深掘り	事前学修：事前配布資料を読んでくる 事後学修：振り返りレポート提出	30	30
15	まとめとふりかえり	事前学修：事前配布資料を読んでくる 事後学修：振り返りレポート提出	30	30

アクティブ・ラーニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード（グループワーク、ディスカッション）
教科書	なし
参考文献	講義内で適宜紹介する。
備考	1. 受講希望者多数の場合は、入ゼミ試験を行うことがある。 2. フィールドワークの訪問先の都合等により、フィールドワークを公開データ調査に置き換える場合がある。 3. 進度に応じて、講義の順番や重点の置き方を変更することがある。 4. 講義終了時に振り返りレポート（講義内容の要点とそれに対する感想）を作成して提出すること。 5. 授業内で提出した課題は、次回講義でまとめて講評する。 6. グループワーク中心の授業であり、適宜ディスカッションを交えて議論を深める。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）
キャリアコンサルタントの資格を有し、民間企業在籍時にはシステム開発（3年）、人材育成事業の企画・教育業務（7年）に従事した。また正社員、契約社員、派遣社員や在宅ワークなど多様な働き方を経験してきた。様々なビジネス現場での業務経験から、具体的な事例を紹介して、より実務的に分かりやすく解説する。

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
	●	●	●		

科目ナンバリング
BC-4-SEM-08

科目名	ゼミナールⅠ			単位認定者	今井　恵美子		評価の方法	授業内課題等	50　%
対象学科 必修・選択 配当年次	ＢＣ学科	選択	１年	開講時期	後期	単位数	1　単位	発表	30　%
						授業時間数	30　時間	受講態度	20　%
				授業形態	演習	授業回数	15　回		

授業の概要	前期の「基礎キャリア形成」を基盤に、自己の志望する領域について、各担当教員の支援指導の下、実社会における具体的な課題や各領域のテーマに主体的・意欲的に取り組み、自分の目標を考察する。
到達目標	①ホスピタリティ発揮にむけ自己理解を深め、多様な価値や背景をもつ他者への配慮・共感力を身につける。 ②検定受験（任意）を通して対人マナーと組織理解の基礎を理解し身につける ③自己の考えを言語化し発表することができる
学修者への期待等	今後のキャリアを意識し、自己の深い理解と可能性を引き出す取り組みです。各自が主体的な学びとチームとしての関係性をを構築していく過程を含め相互尊重・相互理解を前提に受講する方を望む。秘書実務Ⅰ、ホスピタリティ論を受講していることが望ましい。

回	授業計画	準備学修	事前学修時間（分）	事後学修時間（分）
1	授業ガイダンス 自己紹介、進め方、評価について	事前学修：自己紹介の準備をする 事後学修：指示された課題を実施	30	30
2	秘書業務研究① 秘書業務から学ぶ対人技能スキル	事前学修：指示された課題を実施 事後学修：指示された課題を実施	30	30
3	秘書業務研究② 秘書業務から学ぶ交際業務とマナー	事前学修：指示された課題を実施 事後学修：指示された課題を実施	30	30
4	サービス接遇研究① 有形サービスと無形サービスについて	事前学修：指示された課題を実施 事後学修：指示された課題を実施	30	30
5	サービス接遇研究② サービススタッフとしての態度（ロールプレイ実施）	事前学修：指示された課題を実施 事後学修：指示された課題を実施	30	30
6	自己理解と他者理解（ジョハリの窓	事前学修：指示された課題を実施 事後学修：指示された課題を実施	30	30
7	相手の背景への理解のためのコミュニケーション① 言語メッセージ（ペアワークorグループワーク）	事前学修：人から言われて嬉しいと感じた事例をまとめて臨む 事後学修：指示された課題を実施	30	30
8	相手の背景への理解のためのコミュニケーション② 非言語メッセージ（ペアワークorグループワーク）	事前学修：言葉以外のメッセージで印象に残っている事例をまとめて臨む 事後学修：指示された課題を実施	30	30
9	相手の背景への理解のためのコミュニケーション③ 関係性を円滑にするアサーションの考え方と実践	事前学修：自己の言動の変化をまとめて臨む 事後学修：指示された課題を実施	30	30
10	相手の背景への理解のためのコミュニケーション④ powerpoint資料を基に発表	事前学修：発表の練習をして臨む 事後学修：指示された課題を実施	30	30
11	フィールドワーク 「おもてなし」について調査・研究	事前学修：指示された課題を実施 事後学修：指示された課題を実施	30	30
12	研究テーマの設定（課題と計画） グループワーク含む	事前学修：これまでの振り返りを実施 事後学修：指示された課題を実施	30	30
13	発表に向けた準備とPowerPoint資料作成	事前学修：発表の練習をして臨む 事後学修：発表者の評価表への記載	30	30
14	発表	事前学修：発表の練習をして臨む 事後学修：発表者の評価表への記載	30	30
15	発表のフィードバックとゼミ活動のまとめ	事前学修：指示された課題を実施 事後学修：指示された課題を実施	30	30

アクティブ・ラーニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード（ペアワーク・グループワーク・発表・ロールプレイ　　）
教科書	なし
参考文献	必要に応じて適宜紹介する。
備考	ホスピタリティ論、秘書実務Ⅰ履修者が望ましい。 受講者の理解度により、講義の順番や重点の置き方を変えることがある。 秘書検定受験・サービス接遇検定対策につながる。（任意） 第6回～第15回はゼミナールⅢ（今井ゼミ）と合同で実施する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
		●	●		

科目ナンバリング
BC-4-SEM-08

科目名	社会人基礎力演習Ⅱ			単位認定者	高野宏輝　薄葉祐子　遠藤憲子 今井恵美子　中村徹　佐藤和美 小野寺修　佐々木仁　吉田幸太郎		評価の方法	授業内課題	90　%
対象学科 必修・選択 配当年次	ＢＣ学科	必修	2年	開講時期	通年	単位数	1　単位		小論文	10　%
						授業時間数	30　時間			
				授業形態	演習	授業回数	15　回			

授業の概要	ビジネス現場に対応できる「社会人基礎力」の養成を通年で行う。職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力である「前に踏み出す力（アクション）主体性・働きかけ力・実行力」「考え抜く力（シンキング）課題発見力・創造力・計画力」「チームで働く力（チームワーク）発信力・傾聴力・柔軟性・情報把握力・規律性・ストレスコントロール力」を、ケーススタディとグループディスカッションを通して学んでいく。
到達目標	1. 社会人基礎力の3つの能力／12の能力要素とその価値を理解する。 2. アクティブラーニングを通して、気づきと振り返りを言語化できる。 3. 具体的事象を用いた講義から知見を拡げると共に、社会人基礎力を体験的に身につける。
学修者への期待等	・授業開講日、教室(学修内容により、2年生全員で合同で受講する回・各担当教員ごとに受講する回がある)を自ら確認し出席すること。 ・授業毎に提出する課題が評価に反映されることを踏まえ、毎回の授業及び課題に丁寧に取り組む必要がある。 ・社会人として生活する場面と引き当てながら、アクティブラーニングに取り組むことを期待する。

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)	担当教員
1	なぜ社会人基礎力が必要か？ 「チームで働く力」とリーダーシップ／組織開発・26年間のサラリーマン生活から得た教訓	事前学修：社会人基礎力演習Ⅰの内容を振り返る 事後学修：授業中に指示する	30	30	高野　宏輝
2	人生のデザイン1～自分軸から「履修登録」を考える 小論文の書き方～構成を考える	事前学修：履修計画を作成する 事後学修：テーマに沿って小論文を作成する	30	30	単位認定者全員
3	フィールドワーク準備～考え抜く力-計画力 （グループワーク）	事前学修：フィールドワークの意義を確認する 事後学修：授業中に指示する	30	30	単位認定者全員
4	フィールドワーク～運営・参加から実践力を身につける 【1年生「初年次ゼミ」8回目と合同】	事前学修：フィールドワーク計画を確認する 事後学修：授業で提示した課題に取り組む	30	30	単位認定者全員
5	フィールドワーク振り返り／小論文の評価と振り返り ～成長に繋がる振り返りの方法と実践	事前学修：前時事後報告を作成する 事後学修：授業中に指示する	30	30	単位認定者全員
6	「仕事のできる人」になろう！～「自分事」として向き合う力(前に踏み出す力-主体性・働きかけ力・実行力)	事前学修：前時で指示する 事後学修：授業で扱った事例を振り返る	30	30	遠藤　憲子
7	人生のデザイン2～学ぶことと成長から「履修登録」を考える 後期社会人基礎力の準備	事前学修：履修計画を作成する 事後学修：授業で提示した課題に取り組む	30	30	単位認定者全員
8	データから社会を知る ～ICTをどう活用するか(チームで働く力-情況把握力)	事前学修：ICTと社会の時事的動きを調べる 事後学修：授業で提示した課題に取り組む	30	30	吉田　幸太郎
9	「また会いたい人」になるための振る舞い【食事編】 ～初対面や多様な価値観の人と関わる際に「安心感」や「信頼感」を生み、社会人基礎力を向上させるマナー	事前学修：前時で指示する 事後学修：授業で提示した課題に取り組む	30	30	今井　恵美子
10	【普通】について考える ～【普通】とは何か・【普通】とはだれのためのものか	事前学修：「普通」と言葉にする場面を探る 事後学修：授業で提示した課題に取り組む	30	30	小野寺　修
11	ファイナンシャル・ウェルビーイングを実現するための資産形成～お金の不安を解消させるための対策等	事前学修：個人・社会のお金と不安を考える 事後学修：授業で提示した課題に取り組む	30	30	中村　徹
12	医療保険制度から学ぶ「生活を守る力」 ～ケースによって異なる医療保険制度の仕組みを理解し、課題発見力・論理的思考を養う	事前学修：世界の医療保険を比較的に調べる 事後学修：授業で提示した課題に取り組む	30	30	佐々木　仁
13	チームで働く力としてのストレスコントロール ～レジリエンスを高める・チームで働く力を養う	事前学修：チームで行動した体験を振り返る 事後学修：授業で提示した課題に取り組む	30	30	佐藤　和美
14	人生を長期的な視点で捉え、変化に強いマインドセットを築く～ヘルプ・シーキング、ジョブ・クラフティング、リスキリング	事前学修：没頭・没入できた体験を振り返る 事後学修：授業で提示した課題に取り組む	30	30	薄葉　祐子
15	社会人に向けて／社会人基礎力を育み・活かす ～全体の振り返りから	事前学修：前時で指示する 事後学修：授業で提示した課題に取り組む	30	30	単位認定者全員

アクティブ・ラーニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード（フィールドワーク・グループワーク）
教科書	なし
参考文献	授業中に各教員から指示する。
備考	課題のフィードバックは授業内で行う。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
		●	●	●	●

科目ナンバリング
BC-4-SEM-11

科目名	ゼミナールⅢ			単位認定者	薄葉　祐子		評価の方法	授業内課題等	80　%
対象学科 必修･選択 配当年次	ＢＣ学科	選択	２年	開講時期	後期	単位数	1　単位		受講態度	20　%
						授業時間数	30　時間			
				授業形態	演習	授業回数	15　回			

授業の概要	ゼミナールⅠ、Ⅱを含め、本学科での学びを通して修得した専門的知識やスキルを基にして、卒業後の社会人生活に役立つ実践能力や思考力、知識の獲得に向けた応用プログラムを展開する。
到達目標	・企業等における各部門や役職の役割を論理的に説明できる。 ・マネジメントの基本サイクルの構成要素を理解し、各段階の目的と役割を説明できる。 ・「組織内行動」の基礎知識を習得し、職場での人間行動や組織現象を説明できる。 ・マネジメント検定Ⅲ級試験の内容を理解し、専門用語を用いた適切なコミュニケーションができる。
学修者への期待等	・日々のニュースや身近な組織の動きを経営学の観点から観察してほしい。 ・ゼミ活動の集大成として検定試験に挑戦し、自分の理解度を確認してほしい。

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	授業ガイダンス、ゼミナールⅢへの導入	事前学修：シラバス、教科書に目を通す 事後学修：振り返りレポート提出	30	30
2	キャリアとは何か（1年生：ゼミナールⅠ　-2回目と合同　授業）	事前学修：授業内で提示する 事後学修：振り返りレポート提出	30	30
3	経営管理論・経営組織論①伝統的な管理論	事前学修：教科書第5部第1章を読む 事後学修：振り返りレポート提出	60	30
4	経営管理論・経営組織論②ホーソン実験と人間関係論、近代的な管理論	事前学修：教科書第5部第2章を読む 事後学修：振り返りレポート提出	60	30
5	経営管理論・経営組織論③行動科学にもとづく動機づけとリーダーシップの理論	事前学修：教科書第5部第3章を読む 事後学修：振り返りレポート提出	60	30
6	フィールドワーク①地域の社会教育施設視察 （1年生：ゼミナールⅠ-7回目と合同授業）	事前学修：授業内で提示する 事後学修：振り返りレポート提出	60	30
7	ダイバーシティ、ジェンダードイノベーション	事前学修：授業内で提示する 事後学修：振り返りレポート提出	60	30
8	フィールドワーク②地域の起業支援機関施設視察 （1年生：ゼミナールⅠ-9回目と合同授業）	事前学修：授業内で提示する 事後学修：振り返りレポート提出	60	30
9	ダイバーシティ・マネジメント	事前学修：授業内で提示する 事後学修：振り返りレポート提出	30	30
10	事例研究①起業について	事前学修：授業内で提示する 事後学修：振り返りレポート提出	30	30
11 12	フィールドワーク③公的認定企業訪問（1年生：ゼミナールⅠ-12・13回目と合同授業）	事前学修：授業内で提示する 事後学修：振り返りレポート提出	60	60
13	事例研究②ダイバーシティ・マネジメント	事前学修：調査企業の検討 事後学修：振り返りレポート提出	30	30
14	事例研究の発表資料作成	事前学修：発表資料作成 事後学修：振り返りレポート提出	60	30
15	企業調査発表、まとめとふりかえり	事前学修：発表準備 事後学修：振り返りレポート提出	60	30

アクティブ・ラーニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード（グループワーク、ディスカッション）
教科書	『マネジメント検定試験公式テキスト(Ⅲ級)経営学の基本』 日本経営協会、中央経済グループパブリッシング
参考文献	講義内で適宜紹介する。
備考	1. 受講希望者多数の場合は、入ゼミ試験を行うことがある。 2. フィールドワークの訪問先の都合等により、フィールドワークを公開データ調査に置き換える場合がある。 3. 進度に応じて、講義の順番や重点の置き方を変更することがある。 4. 講義終了時に振り返りレポート（講義内容の要点とそれに対する感想）を作成して提出すること。 5. 授業内で提出した課題は、次回講義でまとめて講評する。 6. グループワーク中心の授業であり、適宜ディスカッションを交えて議論を深める。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

キャリアコンサルタントの資格を有し、民間企業在籍時にはシステム開発（3年）、人材育成事業の企画・教育業務（7年）に従事した。また正社員、契約社員、派遣社員や在宅ワークなど多様な働き方を経験してきた。様々なビジネス現場での業務経験から、具体的な事例を紹介して、より実務的に分かりやすく解説する。

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
		●	●	●	●

科目ナンバリング
BC-4-SEM-11

科目名	ゼミナールⅢ			単位認定者	今井　恵美子		評価の方法	授業内課題等	50　%
対象学科 必修･選択 配当年次	ＢＣ学科	選択	２年	開講時期	後期	単位数	1　単位	発表	30　%
						授業時間数	30　時間	受講態度	20　%
				授業形態	演習	授業回数	15　回		

授業の概要	ゼミナールⅠ、Ⅱを含め、本学科での学びを通して修得した専門的知識やスキルを基にして、卒業後の社会人生活に役立つ実践能力や思考力、知識の獲得に向けた応用プログラムを展開する。
到達目標	①自己・他者・地域の三者にとって豊かさについて、ホスピタリティの視点から理解する。 ②卒業後のキャリアにむけて、組織で信頼関係を築く力を実践的な表現力を身につける。 ③継続的キャリアの視点から、自己の課題や可能性を見つけ出す。
学修者への期待等	卒業後の継続的キャリアを踏まえ、自分で考え判断し行動してくために必要と思う活動内容です。不安なく社会人・職業人として踏み出し、相互尊重・相互理解しながら仕事人生をスタートしてください。

回	授業計画	準備学修	事前学修時間(分)	事後学修時間(分)
1	授業ガイダンス 自己紹介、評価、進め方	事前学修：自己紹介・目標をまとめて臨む 事後学修：指示された課題を実施	30	30
2	人が動くメカニズムを知る（動機付け）	事前学修：動機付け（外発的・内発的）について下調べして臨む 事後学修：指示された課題を実施	30	30
3	相手の可能性とやる気を引き出す	事前学修：サーバントリーダーシップについて調べて臨む 事後学修：指示された課題を実施	30	30
4	自己・他者・地域の豊かさとホスピタリティ	事前学修：指示された課題を実施 事後学修：指示された課題を実施	30	30
5	ホスピタリティの発揮の実践（おもてなし表現）	事前学修：指示された課題を実施 事後学修：指示された課題を実施	30	30
6	自己理解と他者理解（ジョハリの窓）	事前学修：指示された課題を実施 事後学修：指示された課題を実施	30	30
7	相手の背景への理解のためのコミュニケーション① 言語メッセージ（ペアワークorグループワーク）	事前学修：人から言われて嬉しいと感じた事例をまとめて臨む 事後学修：指示された課題を実施	30	30
8	相手の背景への理解のためのコミュニケーション② 非言語メッセージ（ペアワークorグループワーク）	事前学修：言葉以外のメッセージで印象に残っている事例をまとめて臨む 事後学修：指示された課題を実施	30	30
9	相手の背景への理解のためのコミュニケーション③ 関係性を円滑にするアサーションの考え方と実践	事前学修：自己の言動の変化をまとめて臨む 事後学修：指示された課題を実施	30	30
10	相手の背景への理解のためのコミュニケーション④ powerpoint資料を基に発表	事前学修：発表の練習をして臨む 事後学修：指示された課題を実施	30	30
11	フィールドワーク 「おもてなし」について調査・研究	事前学修：指示された課題を実施 事後学修：指示された課題を実施	30	30
12	研究テーマの設定（理由等の情報交換） 一部グループワーク	事前学修：これまでの振り返りを実施 事後学修：指示された課題を実施	30	30
13	発表に向けた準備とPowerPoint作成	事前学修：指示された課題を実施 事後学修：指示された課題を実施	30	30
14	発表	事前学修：発表の練習をして臨む 事後学修：発表者の評価表への記載	30	30
15	発表のフィードバックとゼミ活動のまとめ	事前学修：指示された課題を実施 事後学修：指示された課題を実施	30	30

アクティブ・ラーニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード（　ペアワーク・グループワーク・フィールドワーク・発表　）
教科書	なし
参考文献	必要に応じて適宜紹介する。
備考	受講者の理解度等により、講義の順番や重点の置き方を変えることがある。 本科目は秘書検及びサービス接遇検定2級～準1級の受験対策につながる。 条件を満たした場合「秘書実務士」の認定を受けられる。 授業内課題については、講義において解説を行う。 第6回～第15回はゼミナールⅠ（今井ゼミ）と合同で実施する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）